

2023.4.20

東京大学総合科目一般
食をめぐる水と土の環境科学

出席カード

<https://forms.gle/UdAEU4VNP8D6cmpn8>

農村地域における生産と生活のインフラを誰が整備するのか？

農業農村のインフラ整備

<https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/j/84896481849?pwd=aXNZRGhzc3Z3U05ON3RsOG9LVTh6QT09>



溝口勝



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO



Dr.ドロえもん

大学院農学生命科学研究科
農学国際専攻

第一回（西村先生）の講義との関連

- ★ 農業生産は、自然に達成できるものではない
- ★ 社会を支える農業・農村
 - SDGsと農業
 - 土壌の生態系サービス
 - 食料自給の実態
 - 農村地域の生態系サービス
 - 水は足りなくても多すぎてもダメ
 - 土の環境科学
 - 土壌劣化
 - 有機農業
 - 農業開発
- ★ ICTと農業
- ★ 忠犬ハチ公と「水と土」

インフラとは？

- インフラストラクチャー(英語: infrastructure)とは「**下支えするもの**」「下部構造」を指す観念的な用語
 - 国民福祉の向上と国民経済の発展に必要な公共施設
 - 企業などの主幹となる設備を上記に例えた用語

縁の下の力持ち

- 日本では、しばしばインフラ (infra) と略称されるが、インフラストラクチャー (infrastructure) が「下の (infra) 構造 (structure)」を指す通り、本来インフラ (infra) は「下」「未満」を意味する接頭辞で、「下にある」「低い」を意味するラテン語 inferus に由来し、スーパー (super) の対義語である。
- 日本語では社会基盤、基盤施設、経済基盤という訳語も存在する。 → **農業基盤**
- また、日本語では「下部構造」はドイツ語の「Basis」に由来する別義で用いられるため、インフラストラクチャーの意味で「下部構造」を用いることは少ない。
- インフラストラクチャーはその経済が機能するのに必要なサービスや施設を含む、国、**都市**、その他の地域にサービスを提供する**基本的な施設やシステム**である。 → **農村**
- 道路・鉄道・港湾・**ダム**・**上下水道**・インターネット接続(ブロードバンドインターネット接続を含む)など**産業**基盤の社会資本、および学校・病院・公園・社会福祉施設等の生活関連の社会資本など、民間の物理的な改善で構成される。一般に「社会生活条件を可能にし、持続させ、または高めるのに不可欠な商品およびサービスを提供する相互に関連するシステムの物理的構成要素」としても定義されてきた。

農業

農業用水・排水

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

インフラがあってこそ……

- 東大入学式祝辞

- 上野千鶴子氏（2019年）

- https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/president/b_message31_03.html

- がんばったら報われるとあなたがたが思えることそのものが、あなたがたの努力の成果ではなく、環境のおかげだったこと忘れないようにしてください。

- 馬淵俊介氏（2023年）

- https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/president/b_message2023_03.html

- 一つの分野で世界のナンバーワンになることは、とても難しい。ですが、いくつかの重要な分野の経験やスキルを、自分だけにユニークな組合せとして持っていて、それらを掛け算して問題解決に使えるのは自分だけという「オンリーワン」には、なることができます。

- 農業農村地域（生産＋生活）

- 自然＋人為

- 農業基盤（インフラ）

農業農村地域のインフラ整備

- コロナ禍の問題
 - オンライン会議・講義
 - テレワーク
 - 地方の時代
- スマート農業 & 新しい生活様式
 - 農村地域の通信インフラ整備が必要
- 農業土木(農業農村工学)の出番！
 - 水・農地・環境 + 情報



農業用水の歴史クイズ

農業開発と日本社会



社会を支える農業・農村

	S20	S25	S30	S35	S40	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	
	戦後復興		基本法農政（高度経済成長）				米の生産調整の始まり			貿易自由化・生活大国		新基本法農政			
社会の動き	<ul style="list-style-type: none"> 終戦直後、敗戦からの復興 社会の一応の安定 高度経済成長（S29～S48頃） 地域資源を活用した地場産業の衰退 農業基本法の制定（S36） 						<ul style="list-style-type: none"> コメ余剰が顕在化 農村における急激な都市化・混住化 農村における生活環境整備の遅れ 農地法の改正（S45） 			<ul style="list-style-type: none"> ブラゲ合意を契機とした農産物の貿易自由化と円高による農産物価格の低下 国民の価値観の変化（物の豊かさ→心の豊かさへ、経済成長→生活の質の向上へ） 公共投資基本計画が閣議決定（生活関連投資に重点） 新政策の公表（H4） 食料・農業・農村基本法の制定（H11） 					
農業農村整備事業の対応	昭和20年代～			昭和40年代中盤～					平成～						
	<ul style="list-style-type: none"> 帰還者や失業者を受け入れるため、緊急開拓を中心とした農業農村整備事業を実施 			<ul style="list-style-type: none"> 稲作中心の投資から稲作転換の汎用化や畑地改良へと重点を移行（畑地総合土地改良事業や排水対策特別事業の創設） 農村の都市化から農業資源を保全することを目的とした各種防災事業の創設 都市的水需要に応える農業用水合理化事業等の創設 農村の生活環境整備のための農村総合整備事業等の創設 第二次土地改良長期計画（S48～57） 					<ul style="list-style-type: none"> 生活基盤整備、農村整備、防災保全を3つの柱に据え、予算名称を農業農村整備事業費に変更 第四次土地改良長期計画（H5～14） 事業の実施原則として、環境との調和への配慮を明確化（H13） 農家や地域住民らによる農地や水、環境の保全活動を支援（H19～） 						
	昭和30年代後半～			昭和60年代～											
	<ul style="list-style-type: none"> 他産業との格差是正を基本目標とする農業基本法の制定（S36） 農業の生産性向上、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善といった政策の方向性に則し、予算名称を食糧増産対策事業費から農業基盤整備事業費に変更 労働生産性向上のためのほ場整備事業の創設（S38） 第一次土地改良長期計画（S40～49） 			<ul style="list-style-type: none"> 担い手への農地集積を図る大区画ほ場整備事業の創設 土地改良負担金対策の創設 第三次土地改良長期計画（S58～S67） 											

クイズ(1) ①～⑳に適当な言葉を書きなさい。(10分)

農業用水の歴史年表

<https://forms.gle/tBMF8xEp127QtqSVA>

	BC	AD	600	700	1200	1500	1600	1900		
	縄文	弥生	古墳	律令	鎌倉・室町	安土桃山	江戸	明治・大正	昭和	
社会のできごと	● 稲作が始まる ○ 卑弥呼が魏に使いを送る ① 農業始まる		● ②の改新(土地公有化) ● 班田収授法	● ③永代私有令 ● 鉄製道具による農業開発 ○ 荘園整理令	● 乾田化、二毛作始まる	● 鉄製道具普及 (国) ④、一向 ④	● ⑤検地 ○ 関ヶ原の戦い ● 幕府、新田開発を奨励 ○ 天明の大 ⑥ ○ 天保の大 ⑥ (百姓) ④ ○ 大成奉還	● ⑦改正 ○ 大日本帝国憲法配布 ○ ⑧整理法の制定 ● 米騒動 ○ 関東大震災	○ 沖繩、日本に復帰 ● ⑩改良法制定 ● ⑨改革 ○ 東京オリンピック開催 ○ 太平洋戦争	
建設された農業施設の主なもの	○ 登呂遺跡(⑪) ○ 国東半島の溜池群(大分)		○ 古照遺跡(愛媛) ○ ⑫池(大阪)	○ ⑬池(香川)		○ 葛西用水(埼玉)	○ 山田用水(福岡) ○ 入鹿池(愛知) ○ 玉川上水―野火止用水(東京)	○ ⑮用水(愛知) ○ ⑯疎水(福島) ○ ⑰疎水(栃木) ○ ⑱用水(香川) ○ ⑲用水(愛知) ○ 三丁目堰(宮城) ○ 渦巻ポンプ揚水機場(静岡) ○ 七箇用水(石川) ○ 榛名湖疎水(群馬)	○ ⑳ダム(沖繩) ○ 両総用水ダム(千葉) ○ 北海幹線(北海道) ○ 野火止用水復活(東京) ○ 香川用水(香川) ○ 豊川用水(⑲)	
水と農業	(農業用水開発が始まる)	〔 ため池を中心とした農業用水開発が進む 〕				(沖積平野における農業用水の開発が行われる) (水の利用をもとにした村が形づくられる) (水の使い方を決める農民の組織ができる)			〔 台地の開発を目的に農業用水の開発が進む 〕	〔 農業用水確保のための新しい施設整備が進む 〕

答え ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑳

http://www.maff.go.jp/j/nousin/mizu/agwater_antei/a_history/pdf/rekishi.pdf を改変

したはずなのに今はそのページが見当たらないorz

農地と農業用水は 世代を超えた歴史的な財産である

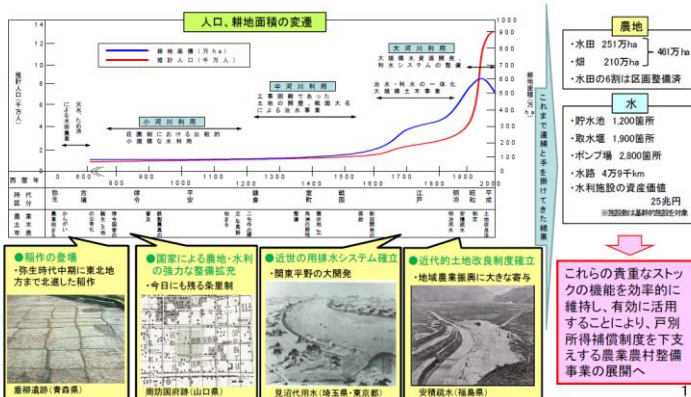
- https://www.maff.go.jp/j/budget/2010_3/pdf/enkatu-haikei.pdf

出展： 農林水産省 農村振興局「我が国の農地と水 (p.3)」

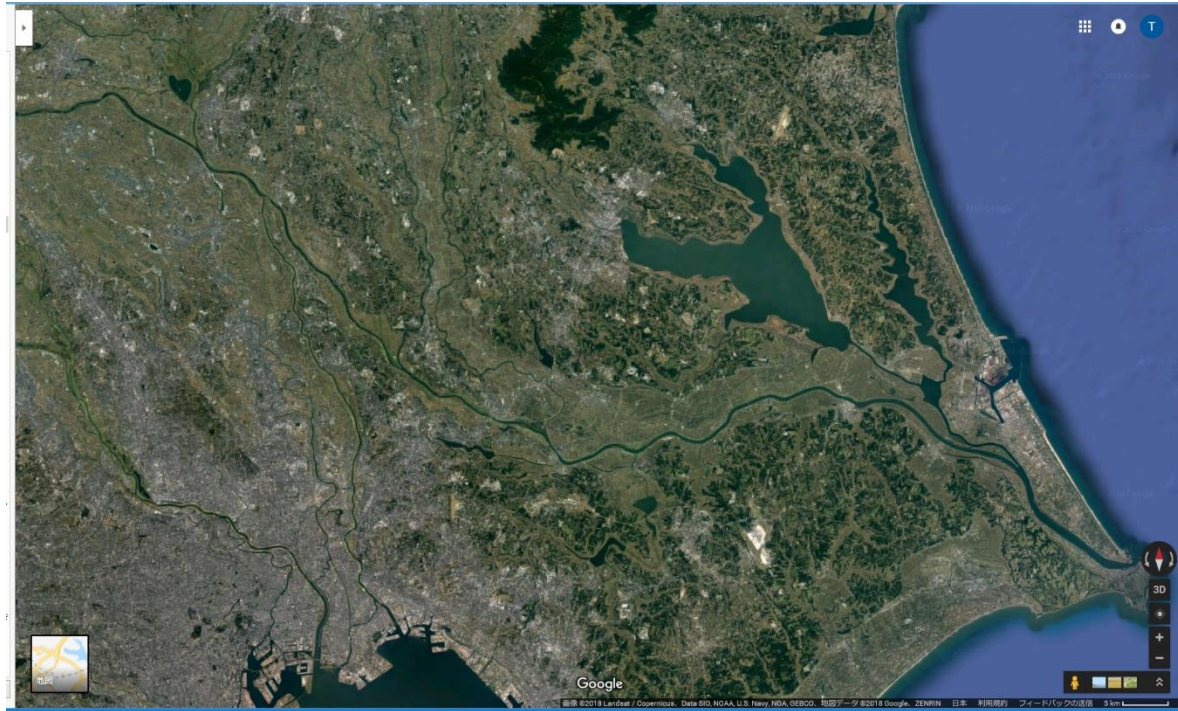
I. 土地改良の歴史と意義

1. 世代を超えた歴史的な財産である農地と農業用水

- 我が国では、二千年以上の永きにわたり、人間の生存にとって不可欠な食料を確保する農地と水に連続と手をかけてきました。これは、太古の時代から時々の政府等が取り組んできた農地と水の開発の歴史です。
- 農地と水利施設が概成した現在、この歴史的な仕事は「保全管理」の段階に至っており、これらを良好な状態で次の世代に引き継ぐ必要があります。ただ、私たちの世代になって、厳しい農業情勢を受けてはじめて農地が減少する事態が発生しています。



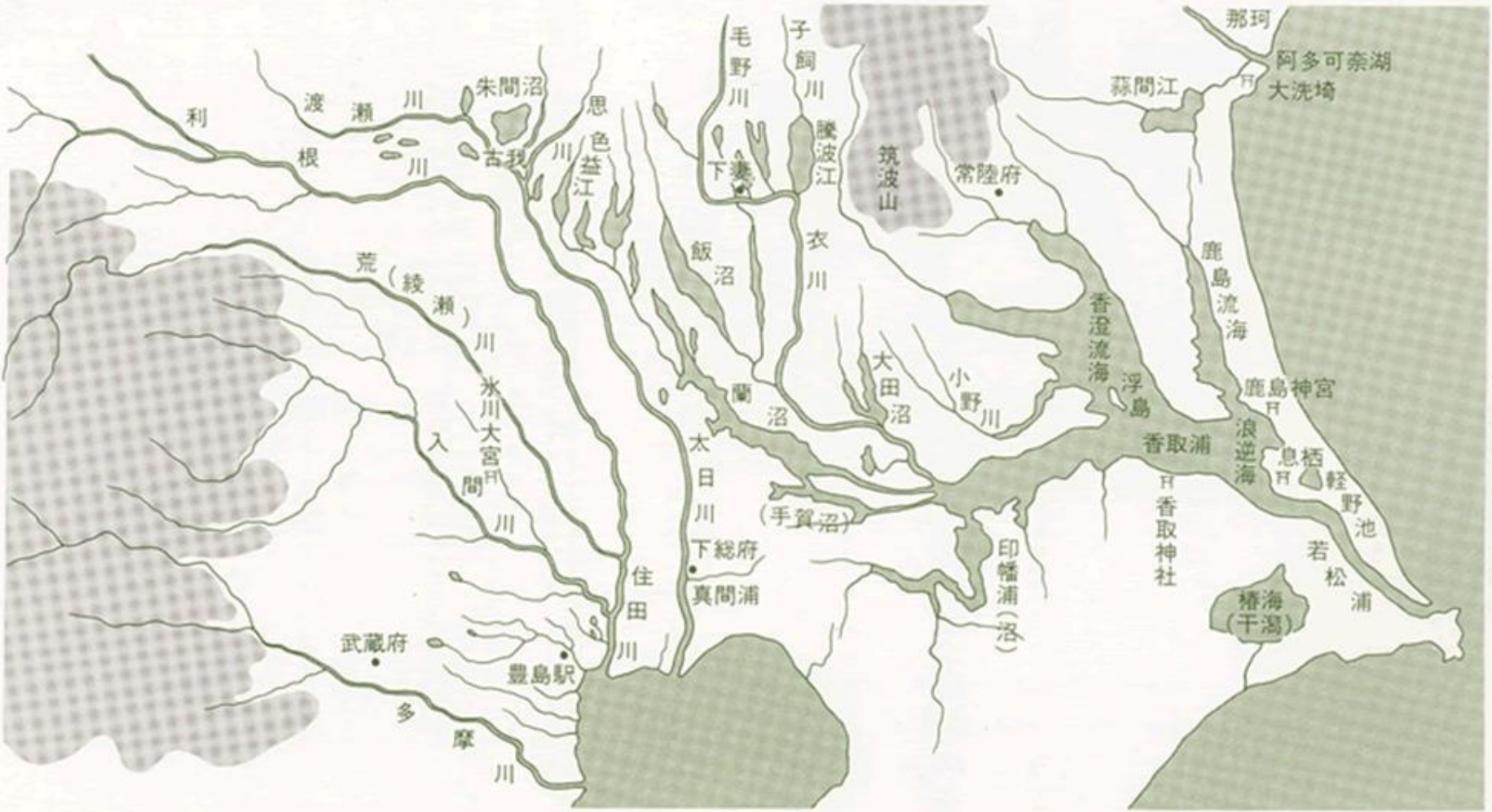
関東平野における水田開拓の事例



首都圏近郊の航空写真 (Google マップ)

クイズ(2) 利根川を見つけ上流から下流まで鉛筆でたどりなさい。

1,000年前の関東平野の水脈

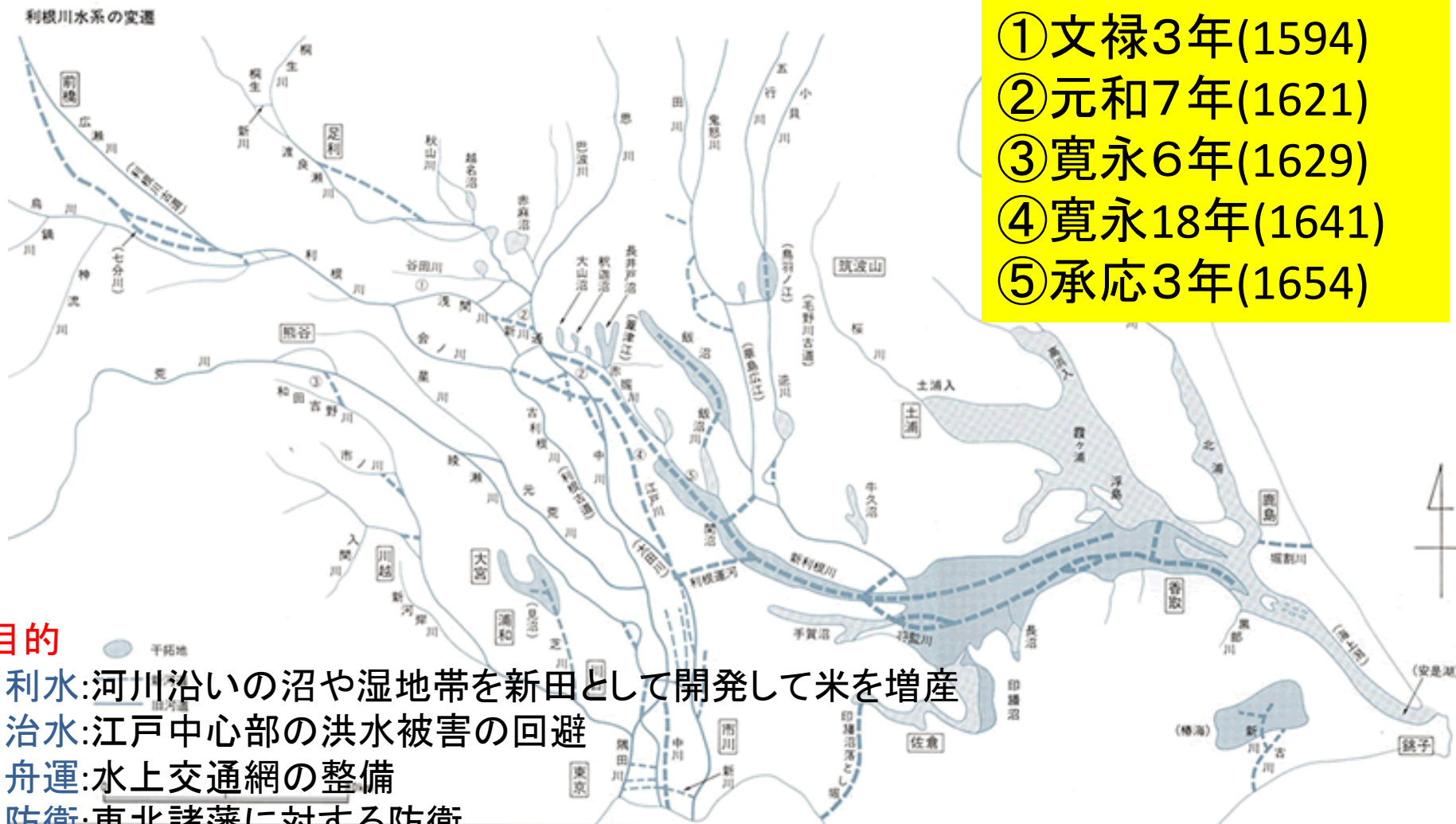


出展:(一社)農業農村整備情報総合センター:水土の礎「大地への刻印」

<https://suido-ishizue.jp/daichi/part2/05/05.html>

利根川の東遷

東京湾へ流れ込んでいた利根川の流路を現在の河口(銚子)へと変更する事業



水土の礎



<http://suido-ishizue.jp/>

農業農村のインフラ

農業基盤整備

公共事業



農業生産を支える
縁の下の力持ち的役割

- ①水を貯め
- ②水を導き
- ③農地を整え
- ④道を整える



農業基盤整備—土地改良区

- 土地改良法(1949)
- 土地改良事業(農業農村整備事業)の仕組み
 - 申請主義 (農民のイニシヤティブ、自己責任)
 - 2/3以上の同意と事業への強制参加
 - 補助金あるいは農民負担制度
 - 同意と補助金
 - 「地域的対抗関係」(新沢, 1955)
- 土地改良区の運営
 - 組合員(耕作者主義)
 - 三権分立
 - 総代会
 - 用水管理

参加型水管理 PIM

(Participatory Irrigation Management)

海外で活躍した有名な日本人

- 中村哲氏 (1946-2019/12/4) @アフガニスタン (13')
 - アフガン人の為なら死んでもいい 中村 哲さん
(2013/12/21)
 - 中村哲氏の記念講演 (2017年2月11日)
 - 【京都環境文化学術フォーラム】
- 八田與一氏 (1886-1942) @台湾 (2')
 - パッテンライ!! 南の島の水ものがたり
 - (参考) 磯永吉氏 (1886-1972)
 - 台湾農業の父: 蓬莱米 (台湾米)

新しい農業農村のインフラ

農業基盤整備

公共事業



農業生産を支える
縁の下の力持ち的役割

- ①水を貯め
- ②水を導き
- ③農地を整え
- ④道を整える

+情報基盤整備

- ・水田はモンスーンアジアに適した農地
- ・農業用水を地域で共有

64-5 農山漁村振興交付金のうち 情報通信環境整備対策

【令和3年度予算概算決定額 9,805 (9,805) 百万円の内数】

<対策のポイント>

人口減少、高齢化が進行する農村地域において、農業水利施設、農業集落排水施設等の農業農村インフラの管理の省力化・高度化を図るとともに、地域活性化やスマート農業の実装を促進するため、情報通信環境の整備を支援します。

<事業目標>

農業農村インフラの管理省力化等を図る情報通信環境の整備に取り組み、事業目標を達成した地区の創出（50地区〔令和7年度まで〕）

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 計画策定

情報通信環境に係る調査、計画策定を支援します。

2. 情報通信環境整備

① 農業農村インフラの管理の省力化・高度化に必要な光ファイバ、無線基地局等の情報通信施設の整備を支援します。

② ①の情報通信施設を地域活性化やスマート農業に有効利用するための附帯設備の整備を支援します。

<事業の流れ>

定額、1/2等

国

都道府県

都道府県

市町村等

定額、1/2等

定額、1/2等

地域活性化・スマート農業

地域活性化

活性化施設の
公衆無線LAN



農業体験等での活用

スマート農業



自動走行農機
での活用



鳥獣農センサー

農業農村インフラの管理の省力化・高度化



集落排水施設の監視



農道橋の監視



排水機場の
監視・制御



分水ゲートの
監視・制御



※ 無線基地局は地域の実状を踏まえて適切な通信規格 (LPWA、BWA、Wi-Fi等) を選定

【お問い合わせ先】 農村振興局地域整備課 (03-6744-2209)

農業農村地域における生産と生活の インフラを・・・



そのためには

- この講義を受講する
- 農学部に進学する
- 地域環境工学を学ぶ
- 農業農村工学会の学生会員になる
-
-
- 人類を救う！

地域環境工学を活かした職業

<https://jagree-ikusei.jp/>

- 研究者
 - 大学(地域環境工学系)、研究所
- 公務員
 - 農林水産省農村振興局、その他
 - 各県農業土木職
- 農業開発コンサルタント
- 建設会社
 - 清水、鹿島、大成、熊谷、安藤ハザマ、...
- 団体職員
 - 土地改良区(美土里ネット)
- その他

農業農村工学

- 農業の生産性向上と農村の生活環境の整備、農業農村にかかわる中小都市も含めた地域全体の持続的発展を図るため、
- 循環を基調とした社会を構築し、
- 水・土などの地域資源を、人と自然の調和、環境への配慮を重視して
- 合理的に管理する科学技術



地域環境工学(農業工学)

- 上野英三郎博士(1872-1925)
 - ハチ公の飼主
 - 東大農学部教授
 - 耕地整理法(1900)
 - 耕地整理講義(1905)
- 農業工学(農業土木)
 - 食料生産の基盤整備
 - 不毛な大地→肥沃な農地
 - 農地造成／灌漑・排水
 - 農地除染
- 除染後の土地利用
 - 帰村後の農村計画
 - 地域創生／産業再生



雑多な情報

- ハチ公ゲーム

- [ハチと上野博士の冒険](#)
- [学会要旨](#)
- モールス信号の意味

- 東大農業工学の歴史

- [東大農業工学の系譜](#)
- [東大農業工学 百年史年表](#)

- ハチ公物語

- [上野英三郎先生とハチ公コレクション](#)
- [真実は1次データに宿る](#) (下野新聞日曜論壇)

- 読み物

- [東大生はタフになったのか](#), 学内広報, 東京大学広報室, no.1491 2017年1月25日
- [ドロえもん博士 \(pdf\)](#) (雷鳴抄@下野新聞)
- [真の復興、飯舘村民に学ぶ](#) (下野新聞日曜論壇)
- [学問は出会いと現場から](#) (下野新聞日曜論壇)
- [難問に挑む人材の活用を](#) (下野新聞日曜論壇6)
- [農学と出会い、世界が広がった](#) (「卒業生人名録 10」, 広報誌弥生74, p.7)

わたしたち農林水産省は、

いのち
生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を
未来の子どもたちに継承していくことを使命として、

常に国民の期待を正面から受けとめ

時代の変化を見通して政策を提案し、

その実現に向けて全力で行動します。

<https://www.maff.go.jp/j/org/vs/>

参考ページ



- 検索＝みぞらぼ <http://www.iai.ga.a.u-tokyo.ac.jp/mizo/mizolab.html>
- 農業農村工学会 <http://www.jsidre.or.jp/>
- ARDEC（日本水土総合研究所）
 - <http://www.jiid.or.jp/publish/ARDEC.html>
- [農業農村工学の「つなぐ・つながる」を考える](#)
 - 水土の知, 2018.3.14
- 農業農村開発の技術を考える (ARDEC 第60号, March 2019)
 - http://www.jiid.or.jp/ardec/ardec60/ard60_key_note_g.html
- 情報通信インフラ整備で開花する新しい農業農村の多面的機能
 - <http://www.iai.ga.a.u-tokyo.ac.jp/mizo/papers/ARIC128.pdf>
- [スマート農業の死角](#)
 - 日本農業新聞:現場からの農村学教室(2020.3.1)

グループディスカッション

- グループに分かれて、今日の講義を振り返り、質問や感想を話し合う。
- 出席カードに記入